

——昨年、会津高原尾瀬口駅でお会したとき、26インチバスハントーの嶋田さんや、700Cシクロクロ入車の佐藤さんと一緒に、山口さんが20インチの小径車で走らされていることに、とても驚いたんです。山口 林道など本格的なダート走行があるときはMTBに乗りますが、舗装路中心のツーリングでは、このKHS・F20-Rで走ります。

でも、もともとツーリングのためではなく、「小さく折りたためるから、仕事場に置いておいてもじやまにならないだろう」という動機で、小径車を選んだのです。

佐藤さんとは、大船の病院勤務のころ、同僚として知り合ったのですが、トライアスロンやツーリングに親しんでいた彼に、以前からスポーツ自転車をすすめられていました。

04年、鎌倉へ転居したのを機に、それまで7年間毎年1kgずつ増えていた体重をなんとかしたいと思って、たところ、「自転車で少し走れば、そのくらいすぐ落ちます」と背中を押されました。まず、コナのMTBを購入して、出勤前に七里ヶ浜まで走るのが日課となり、昼休みにも乗りたいたら仕事場に置きやすいだろうと自転車雑誌でいろいろ調べて、BDイーヤバイクフライデーも候補でしたが、いかにも走りそうな感じがしたこの自転車に決めました。初めて仕事場に乘っていったら、看護師さんの第一声は「カマキリみたい」。たしかにフルホンバーとブレーキレバーが戦闘態勢のカマキリに似ている。この自転車に宿るフアイテイ

小径車でスポーツ& 輪行ツーリング

山口 泰

KHS / F20-R

やまぐち・やすし

1959年生まれ、神奈川県在住。医師。08年秋に奥会津で本誌取材班が出会った、車種混成3人組サイクリストのおひとり。04年、「ダイエットにはスポーツ自転車が効果的」と、同じ医師の友人であり、トライアスロンやツーリングを実践していた佐藤海直氏にすすめられ、まず、コナ (KONA) のMTBを購入。自転車の楽しさに目覚めて昼休みにも乗りたいと考え、職場に置いておいてもじやまにならない小径車のなかからKHS・F20-Rを選択。同車の走行性能の高さを生かし、ML富士ヒルクライムに参加したり、佐藤氏の友人である嶋田氏 (本特集P74~75登場) と3人で、年に数回、輪行ツーリングへ (P100~103のカナダツーリングルボも併せてお読みください)。

